

平成25年度第3回定例会民主党代表質疑

Table with 4 columns: 質疑項目 (Question Item), 所管課 (Responsible Department), 質疑項目 (Question Item), 所管課 (Responsible Department). It lists 12 categories of questions such as '市政運営の基本姿勢について', '環境行政について', '経済農政について', etc., and their corresponding departments like '資金課', '環境保全課', '経済企画課', etc.

【表面より続く】とにより、公共施設の見直しを進めて参ります。4. 幕張新都心の魅力向上について 様々な機能の一体的な集積が進む幕張新都心では、多くの人が活動しておりますが、横浜市の「みなとみらい21地区」や東京都の「臨海副都心地区」に比べると、人の動きや賑わいが不足しているように思われます。幕張新都心の魅力向上のためには、街なか空間を、より有効に活用することによる交流機能の強化、国内外への魅力発信や街なかの賑わい創出、さらには回遊性の向上を図ること

【質問】とが求められています。【答弁】平成23年度に実施した区市共同事業のモデルプロジェクトのひとつとして挙げられた、「街なか空間」の活用について、平成24年度に社会実験を行いました。海浜幕張南口の駅前広場に情報発信拠点を設置、イベントに関連した展示やパフォーマンスの実施、また、メッセモールにオープンカフェや休憩スペースを設置し、利用状況やニーズの把握、通行量の変化などを検証しました。その結果、情報発信拠点では無料抽選会等に多くの人が参加、アンケートでは情報発信拠点設置に肯定的な回答が約70%、80%ありました。オープンカフェについては、数%程度ではあります。通行量の増加が確認され、アンケートでは「オープンカフェの存在がまちの魅力につながると思うか」

の間に、約90%の利用者より肯定的な回答があり、今回の社会実験の結果から、一定の効果があったものと考えております。今後、民間団体等が取り組みの主体となりうるような方策を検討していくとともに、情報発信強化につながる公衆無線LAN環境構築ための方向性と実現方策に関する調査を行なっており、その一環として、受託者が8月から公衆無線LANの実環境を活用した実証実験を開始したところです。

「花見川区の諸問題」 花見川区においては、地域の学校の児童・生徒数減少等により、学校適正配置を進めるべく、平成23年6月、関係自治会、青少年育成委員会、PTA・保護者会、学校評議員など学校に関わる様々な代表者からなる、「花見川区学校適正配置地元代表協議会」を設立し、子どもたちのより良い教育環境の整備と教育の質の充実を図ることを目的に、15回にわたる協議を重ねて参りました。その結果、平成27年4月に花見川第一中学校と第二中学校を統合、統合場所を現花見川第一中学校の位置とし、新設校として開校することで合意がなされ、中学校に関しては、既に、千葉市教育委員会に「花見川区中学校の統合に関する要望書」が提出されております。また、花見川第一小学校と第二小学校の統合については、統合場所を第一小とし、統合時期は平成28年4月を目指すことで、今後、最終確認を行う方向となっております。さらに、今回の学校適正配置の対象から除外した小学校についても、児童数の減少等を踏まえ、今後、新たな検討が必要となってくるものと考えられます。この統合に向け、前回のレポートにおいてもお知らせしたように、通学路の安全確保のための道路整備が始まる予定となっております。さて、あなたの地域で「困ったこと」や「こうして欲しい」ということはありませんか？すべてが実現可能とはいきませんが、地域の多くの方が抱えている問題であれば、市議会やレポート等で「花見川区の諸問題」として検討させていただきます。ぜひ、一緒に考えましょう！

被災地復興に向けて 今年の夏は各地での豪雨被害、9月に入り埼玉・千葉・茨城各県における竜巻被害、そして台風18号においては、今年8月に創設されたばかりの「特別警報」が発令される事態となるなど、大きな被害がありました。被災された地域の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。さて、日本全体にダメージを与えた、東日本大震災から2年半が経過いたしました。被災された地域においては、新しい街づくりに少しずつ前進していますが、状況はまだまだ厳しいものとなっております。今年6月の宮城県気仙沼市訪問に続き、8月1日・2日にかけて仙台市の荒浜地区、名取市の閑上地区を訪問いたしました。被害の大きかった両地区ですが、住民の方が戻らない状況があり、学校も閉鎖されたままの状態、ガレキが処理されたこともあり、荒涼とした印象を受けました。東日本大震災により被災された方々、亡くなられた方々に対し、被災地を忘れることなく、今後も東北3県を中心に伺い、本当に微力ではありますが、少しでもお力になればと存じます。 荒浜ふるさと再生プロジェクト 荒浜地区に建つ観音像